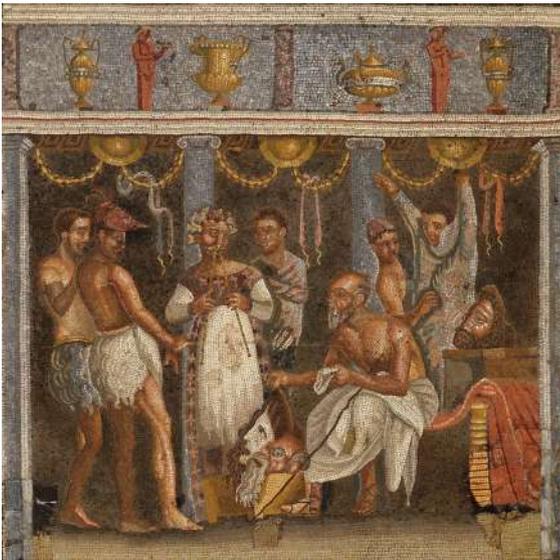


# 特別展 POMPEII ポンペイ

## 特別展「ポンペイ」開催のご案内



《劇の準備》 Photo ©Luciano and Marco Pedicini

報道各位

日頃から、宮城県美術館の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

当館で7月16日（土）から開催する特別展「ポンペイ」についてご案内いたします。つきましては、ぜひ貴メディアにて取り上げ、報道・周知していただきたくお願い申し上げます。

なお、広報用画像のご使用や招待券プレゼントを希望される場合は、本リリースの末尾に添付しております用紙に必要事項をご記入の上、当館宛にFAXにてお申し込みください。

宮城県美術館

### 報道公開 2022年7月16日（土）午前8時30分～

開会式 同日 午前9時～（開場は8時30分）

講演会 同日 午後1時30分～（開場は午後1時）

「ポンペイの美術と住人たち」芳賀京子氏（本展監修者、東京大学教授）

事前申し込みは不要です。2階展示室入り口前の受付にお声がけください。

作品を1点撮りして掲載する際は、必ず作品名のほか以下の所蔵先を明記してください。

ナポリ国立考古学博物館蔵

（No.157-158 ノーラ歴史考古学博物館蔵をのぞく）

## 開催概要

名称 特別展「ポンペイ」

会場 宮城県美術館、展示室3・4

会期 2022年7月16日(土)～9月25日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時(発券は午後4時半まで)

休館日 月曜日(ただし7/18、8/8、9/19は開館)、7/19(火)、9/20(火)

主催 宮城県美術館、ナポリ国立考古学博物館、河北新報社、khb 東日本放送

共催 朝日新聞社、NHK 仙台放送局、NHK エンタープライズ東北

特別協賛  住友金属鉱山

協賛 凸版印刷、竹中工務店

後援 イタリア大使館、仙台市教育委員会、tbc 東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、エフエム仙台

公式HP <https://pompeii2022.jp/>

観覧料 一般1,500(1,300)円、学生1,300(1,100)円、小・中学生・高校生750(600)円

※( )内は前売及び20名以上の団体料金

前売券 販売期間：5月21日(土)～7月15日(金)

販売所：藤崎、仙台三越、セブンチケット、ローソンチケット(Lコード23333)、河北新報販売店、日専連カスタマーセンター(アエルビル9F)、ニッセンレン・テラスセルバ店

## 関連イベント

### (1) 講演会「ポンペイの美術と住人たち」

講師：芳賀京子氏(本展監修者、東京大学教授)

日時：7月16日(土)午後1時30分～(開場は午後1時)

会場：講堂 定員：150名 ※当日先着順(聴講無料)

### (2) 学芸員による展示解説

日時：7月30日(土)、9月17日(土)いずれも午後2時～(30分程度。開場は午後1時30分)

会場：講堂 定員：150名 ※当日先着順(聴講無料)

### (3) まちなか美術講座「ポンペイ展からタイムトラベル」

講師：柴野倫子(当館学芸員) 日時：8月20日(土)午後1時30分～午後3時

会場：東北工業大学一番町ロビー2階ホール 定員：20名 ※要申込み・多数の場合は抽選

申込方法：1名様につき1枚の往復はがきに、講座タイトル・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください。申込期間：2022年7月1日(金)～8月5日(金)(当日消印有効)

【宛先】〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-3-1(TMビル)東北工業大学一番町ロビー

「まちなか美術講座」係(TEL 022-723-0538)

\*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、本展覧会や関連イベントの予定が変更になる場合がございます。その場合は当館のホームページなどを通じて、随時お知らせいたします。

## 展覧会概要

南イタリアに存在した古代都市、ポンペイ。西にナポリ湾を望むこの街は、風光明媚で大地は肥沃、交通の要衝でもあり、紀元前2世紀ごろから大きく栄えました。やがてローマ人の別荘地としても発展しますが、79年、街の北西にあるヴェスヴィオ山の噴火によって、すべてが埋没してしまいます。

短時間で噴火堆積物の下に閉じ込められた家々や神殿、美術品、家財道具は、誰にも手をつけられることなく、約1700年にわたり眠り続けてきました。18世紀にようやく開始され、現代まで続く発掘は、まさに「タイムカプセル」を開封する作業。ポンペイと周辺の遺跡は古代ローマ都市の人々の生活を知る資料の宝庫であり、長年の発掘作業が古代史、美術・文化史の研究にもたらした成果は計り知れません。

本展覧会では、ナポリ国立考古学博物館の全面的な協力のもと、日本初公開を含む約130点を展示、ポンペイの豊かな暮らしを、発掘の成果をもとに紹介します。出品されるモザイク画やフレスコ画、彫像や工芸品はどれも、同館の誇る優品ばかりです。なかでも、ポンペイの旧家であり最も大きい邸宅「ファウヌスの家」から出土した精細なモザイクの数々は必見です。

ポンペイ展の決定版ともいえる本展で、約2000年前の古代都市への「タイムトラベル」を是非おたのしみください。

### 序章 ヴェスヴィオ山噴火とポンペイ埋没

ポンペイは79年、近郊にあるヴェスヴィオ山の噴火に見舞われ、大量に降り注いだ火山灰や高温の火砕流に埋没してしまいました。序章では、噴火と埋没を象徴する出土品を紹介します。



1

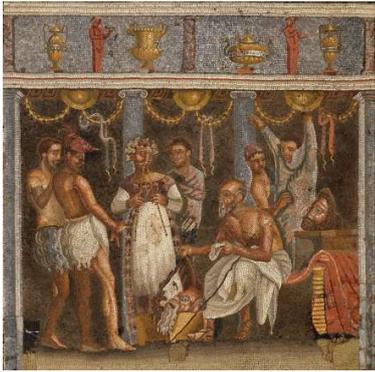
1 《ボックス（ディオニュソス）とヴェスヴィオ山》62～79年

### 第1章 ポンペイの街 — 公共建築と宗教

ポンペイは1万人ほどの人口を擁し、水道や公共施設が整備された都市でした。本章では、フォルム（中央広場）、浴場、運動場、劇場、円形闘技場といった公共施設にまつわる作品を鑑賞しながら、ポンペイの街へ思いを馳せていただきます。

神々を祀る神殿もまた、都市に必要な要素でした。ポンペイで信仰されたアポロ、ウェヌス、イシスといった神々

に関する作品を通じて、ポンペイにおける宗教と信仰についてもご紹介します。



2



3

2 《劇の準備》1世紀

3 《パレード用の兜》1世紀

## 第2章 ポンペイの社会と人々の活躍

本章では、ポンペイに暮らした裕福な市民たちの暮らしぶりが分かる出土品を展示します。宴席を飾った豪華な品々、所有者の教養を示す装飾品などからは、裕福な市民の嗜好が浮かび上がります。

また女性の活躍や、市民の地位を得た解放奴隷の存在にも注目します。こうした人物にちなんだ発掘品からは、貧富の差がありながらも立場を逆転させるチャンスを持っていた、ポンペイ社会の寛容性がうかがえます。



4



5



6



7



8

4 《青い水差し》1世紀

5 《ヘタイラ（遊女）のいる饗宴》1世紀

6 《哲学者たち》前1世紀

7 《エメラルドと真珠母貝のネックレス》前1～後1世紀

8 《テーブル天板（通称「メメント・モリ」）》前1世紀

### 第3章 人々の暮らし — 食と仕事

ポンペイの街中にはパン屋や、テイクアウト可能な料理屋があり、手軽に食事をとることができました。裕福な家には台所があり、使用人たちが調理し、食事を供しました。本章では、台所用品や食器類、出土した食材を展示し、都市の食生活にせまります。また、医療用具、画材、農具、工具など、ポンペイの住民が使っていた仕事道具を紹介し、実際にポンペイに生きた人びとの日常生活に触れていただきます。



9



10

9 《パンのある静物》50～79年

10 《炭化したパン》79年

### 第4章 ポンペイ繁栄の歴史

本章では、ポンペイ繁栄の歴史を示す3軒の邸宅「ファウヌスの家」「竖琴奏者の家」「悲劇詩人の家」に注目します。モザイクや壁画の傑作、出土した生活調度品を鑑賞しつつ、2000年前の邸宅の雰囲気を感じていただきます。

「ファウヌスの家」は前2世紀にさかのぼる古い邸宅で、ヘレニズム美術屈指のモザイク装飾が残されていることで有名です。「竖琴奏者の家」ではポンペイがローマの植民市となり、帝政期になってローマ文化が黄金時代を迎えた頃のフレスコ画、「悲劇詩人の家」では噴火直前に描かれたフレスコ画が知られています。順を追って展示品を鑑賞することで、ポンペイの繁栄の歴史を見ることができます。



11



12



13



14

- 11 《猛犬注意》 1 世紀
- 12 《踊るファウヌス》 前 2 世紀
- 13 《葉綱と悲劇の仮面》 前 2 世紀末
- 14 《イセエビとタコの戦い》 前 2 世紀末

## 第 5 章 発掘のいま、むかし

本章では、18 世紀から現在に至る発掘の歴史を振り返ります。ヴェスヴィオ山の噴火で埋没したエルコラーノ（ヘルクラネウム）、ポンペイ、ソンマ・ヴェスヴィアーナの 3 遺跡をとりあげます。かつての発掘は美術品を獲得するための「宝探し」でしたが、現在では厳密で慎重な発掘調査が行われています。同時に、遺跡や出土物の保護が、特に重要な課題となっています。有名な「アレクサンドロス大王のモザイク」も表面の保護に続き、裏面の補修に向けた状態の確認作業が始まっています。本章では、こうした現在進行中の修復作業についてもご紹介します。

\*作品はすべてナポリ国立考古学博物館蔵

Photos ©Luciano and Marco Pedicini

\*この報道資料に掲載されている画像は、広報用に使用することができます。

別紙「作品画像使用申込書」・「チケットプレゼント申込書」（FAX 専用）にてお申し込みください。

## 連絡先

宮城県美術館 〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉 34-1 （担当：菅野、柴野、加野）

TEL：022-221-2111 FAX：022-221-2115

公式 HP：<https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/> 公式 Twitter：[https://twitter.com/miyagi\\_bijutu](https://twitter.com/miyagi_bijutu)